

# 研究課題名：共有資源の利用における自主管理の検証

## ～協力のしくみを読み解き、“コモンズ”を科学する～



### <研究概要>

共有資源はコモンズの悲劇による問題を抱えており、効果的な管理が求められます。本研究は、漁業者による自主管理を文化的に根付いた慣習や成功事例としてのみ捉えるのではなく、メタ分析や機械学習、実験的手法を用いて、科学的エビデンスに基づく多様な制度のあり方に挑戦します。日本の漁業を中心に、自主管理がもたらす効果や成功要因を明らかにし、持続可能な資源管理制度の構築に向けた政策提言を行うことを目的とします。

わかまつ みほこ

氏名：若松 美保子

所属機関：東京海洋大学

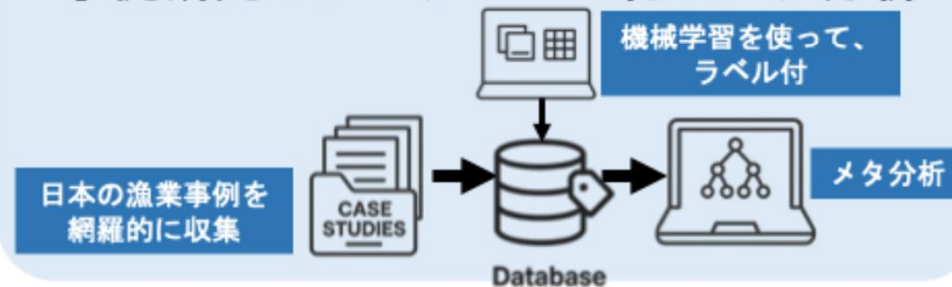
役職：准教授

(経済学、経営学およびその関連分野  
/経済政策関連)

3つの異なる手法により、  
外的・内的妥当性の両方にアプローチ

メカニズムの  
解明

事例研究のデータベース化とメタ分析



経済実験



観察研究



### <略歴>

2005年津田塾大学卒業、同年(公社)日本経済研究センター勤務。2011年McGill UniversityにおいてMSc (農業経済学)取得。2015年University of Rhode IslandにおいてPhD (環境・資源経済学) 取得、同年九州大学大学院工学研究院都市システム工学講座 学術研究員のち助教。2020年より東京海洋大学学術研究院海洋政策文化学部門 准教授。